新世紀ちば健康プラン　最終評価の概要

資料３

Ⅰ　策定から最終評価までの経緯

新世紀ちば健康プラン（平成 14 年 12 月策定）(P2～P3)

1　プラン策定の目的
市民一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる「健康なまちの実現」

2　位置づけ
- 市民の健康づくり運動を総合的に推進するための指針
- 国の「健康日本21」「健やか親子21」を踏まえた本市の独自計画
- 千葉市新総合ビジョンに基づく「安心して暮らせる健康福祉のまちを創る」ための行動計画

3　計画期間
平成 14～22 年度（９年間）

中間評価・見直しを実施（平成 22 年２月）

【見直しの内容】
1　位置づけ
健康増進法第８条に基づく市町村健康増進計画としての位置付けを追加
2　計画期間
計画の目標年度を平成 22 年度から平成 24 年度に変更
3　代表目標項目の設定
重点的に取り組む 51 指標を代表目標項目として設定
4　基本指標の設定
基本理念・基本目標の達成状況評価を行うための指標等を基本指標として設定

国の動向 (P4～P7)

H15. 5 健康増進法施行
健康増進計画を法定計画として位置づけ（市町村の策定は努力義務）
H18. 6 医療制度改革関連法成立
メタボリックシンドロームの概念を導入し、予防重視の生活習慣病対策を推進
医療保険者に特定健康診査・特定保健指導の実施を義務化
H19. 3 「健やか親子 21」指標の見直し等について公表
H19. 9 「健康日本 21」中間評価・見直し
メタボリックシンドロームに関する目標等を追加
計画期間の終期を平成 22 年度から平成 24 年度に変更
H22. 3 「健やか親子２１」中間評価・見直し
計画期間を平成 22 年度から平成 26 年度に変更
H23. 10 「健康日本２１」最終評価
全５９指標のうち、35 指標で目標を達成または改善傾向
H24. 7 「健康日本２１（第２次）」告示

県の動向 (P7～P8)

H20. 3 「健康ちば 21」中間評価・見直し（計画期間を H24 に延長）

市の関連施策の動向 (P8～P9)

H20. 3 「千葉市第２次５か年計画」見直し
「千葉市国民健康保険特定健康診査等実施計画」策定
H21. 6 「千葉市食育推進計画」策定
H23. 6 「千葉市新基本計画」策定
H24. 3 「千葉市新基本計画第１次実施計画」策定

最終評価の目的と方法 (P9)

1　目的
計画策定時及び中間評価・見直し時に設定された健康目標について、その達成状況や関連する取組みの状況を評価するとともに、健康づくり対策を取り巻く社会的変化や制度の変更などを踏まえた健康課題を明らかにし、今後の対策に反映させる。

2　方法
基本理念及び基本目標１～３を個別に評価するとともに、健康目標（156 指標）について、設定時の値と最終値を比較し、「◎（達成）」、「○（改善）」、「△（変化なし）」、「×（悪化）」、「－（評価不能）」の５段階で評価した。

Ⅱ　基本理念・基本目標の達成状況の評価 (P10～P17)

1　基本理念の達成状況の評価【ベースライン値：H17　→　最終値：H22】

平均寿命	男性	79.39 年	→	80.06 年	◎（達成）
	女性	85.75 年	→	86.70 年	

平均余命（６５歳）	男性	18.74 年	→	19.31 年	◎（達成）
	女性	23.37 年	→	24.14 年	
平均自立期間（６５歳）	男性	17.21 年	→	17.64 年	◎（達成）
	女性	20.33 年	→	20.48 年	

平均余命（７５歳）	男性	11.59 年	→	11.80 年	◎（達成）
	女性	14.98 年	→	15.57 年	
平均自立期間（７５歳）	男性	9.97 年	→	10.12 年	◎（達成）
	女性	11.76 年	→	11.84 年	

2　基本目標の達成状況の評価

（1）基本目標１　：　自分は健康であると感じ、いきいきと暮らしている市民を増やそう。（主観的健康観の向上）

自分の健康をよいと思っている者の割合	42.1%	→	34.7%	×（悪化）

（2）基本目標２　：　家族みんなで健やかな毎日を作っていこう。（ファミリーヘルスの実現）

◎(目標を達成)：１２指標	○(目標に向かって改善)：２４指標	△(変化なし)：１指標	×(悪化)：１指標	－(評価不能)：２指標

（3）基本目標３　：　健康づくりを社会全体で支えるしくみを築き、広げよう。（健康を支援する環境づくり）

◎(目標を達成)：　４指標	○(目標に向かって改善)：　３指標	△(変化なし)：０指標	×(悪化)：２指標	－(評価不能)：０指標

Ⅲ　健康目標の達成状況（全体）(P18)

健康目標（全１４５指標、再掲を除く。）のうち、25%が目標を達成しており、約 45%が改善傾向にあるが、分野ごとに偏りが見られる状況

◎(目標を達成)：36 指標（24.8%）	○(改善)：65 指標（44.8%）	△(変化なし)：14 指標（9.7%）	×(悪化)：22 指標（15.2%）	－(評価不能)：８指標（5.5%）

Ⅳ　分野別の最終評価 (P20～P65)

生活習慣の改善・生活習慣病予防の目標と取り組み

1　栄養・食生活 (P20～)　◎：6　○：15　△：7　×：10　－：2
【評価】子どもの肥満、朝食欠食に係る指標は改善。成人の肥満、野菜摂取量等の指標は未改善
【課題】今後もバランスの良い食生活の定着、食環境の整備に係る取組みが必要

2　身体活動・運動 (P25～)　◎：2　○：6　△：0　×：1　－：0
【評価】身体を動かすことへの意識や運動習慣者の割合については、概ね改善傾向
【課題】ライフステージごとの特性に応じた指標の設定・取組み、社会環境の整備や地域・職場における仲間づくりやきっかけづくり等運動習慣定着に向けた取組みが必要

3　休養・こころ (P29～)　◎：3　○：3　△：2　×：0　－：0
【評価】ストレスの対処などは改善傾向だが、うつ病の認知などについては不十分
【課題】今後も就労世代を中心にメンタルヘルス及び自殺対策に係る取組みが必要

4　たばこ (P33～)　◎：7　○：11　△：0　×：0　－：0
【評価】すべての指標で目標を達成、または改善傾向
【課題】今後も未成年者の喫煙防止、女性の妊娠期等における禁煙支援、民間施設の受動喫煙防止などの取組みが必要

5　アルコール (P37～)　◎：2　○：4　△：0　×：1　－：0
【評価】40 代男性の多量飲酒者の指標以外については、概ね改善
【課題】今後も未成年者、女性に対するアルコールの影響に関する知識の普及啓発が必要

6　歯の健康 (P39～)　◎：8　○：5　△：0　×：4　－：0
【評価】歯ぐきに異常のある 12 歳児、小学生の定期健診・歯周疾患検診受診率等に係る指標以外については概ね改善
【課題】今後も定期的な歯科健診の受診勧奨、成人の歯周疾患予防の普及啓発等が必要

7　糖尿病 (P42～)　◎：7　○：10　△：1　×：4　－：3
【評価】特定健康診査実施率、メタボリックシンドローム予備群の減少率、50 代の男性の肥満者に係る指標については、改善なし
【課題】今後も糖尿病の発症・重症化予防に向け、生涯を通じた取組みの一層の推進が必要

8　循環器病 (P46～)　◎：8　○：12　△：4　×：5　－：4
【評価】特定健康診査実施率、高血圧症、脂質異常症等について、改善なし
【課題】今後も循環器病の発症・重症化予防に向け、生涯を通じた取組みの一層の推進が必要。

9　がん (P50～)　◎：6　○：12　△：2　×：4　－：0
【評価】がん検診受診率は向上（目標は未達成）、精密検査受診率は全体的に横ばい
【課題】今後も目標（５０%）の達成に向けた受診率向上に係る各種取組みが必要

親と子が健やかに育ち合うための目標と取り組み

1　思春期 (P54～)　◎：1　○：1　△：0　×：2　－：0
【評価】性感染症に対する正しい知識を持つ高校生の割合に係る指標は悪化、その他は改善傾向
【課題】今後も学校教育との連携によるなお一層の取組み推進が必要

2　妊娠・出産・不妊 (P57～)　◎：3　○：2　△：0　×：0　－：0
【評価】すべての指標で目標を達成、または改善
【課題】今後も問題を抱える妊婦への支援、父親の育児参加などに係る取組み推進が必要

3　小児保健医療 (P60～)　◎：3　○：4　△：0　×：0　－：0
【評価】すべての指標で目標を達成、または改善
【課題】今後も乳幼児健康診査については、発達障害の早期発見・早期療育に取組むことが必要

4　育児不安 (P63～)　◎：0　○：2　△：0　×：0　－：1
【評価】心身ともに快調に育児をしている母親の割合の増加など、概ね改善傾向
【課題】今後も児童虐待防止に向けた各種取組み（妊娠期からの支援、育児支援環境づくり等）が必要